

施策評価シート

施策番号【7-1】

評価年度	令和2年度		事業実施年度	令和元年度	施策主管次長名	山田浩昭	
施策番号	7-1	施策名	市民が参画し、ともに支え合う協働のまちづくり			総合計画掲載頁	154～155
主担当部名	市民協働部						
関連課名	協働推進課						

1 総合計画の目標指標 PLAN & GOAL（中間値と最終目標値の確認）

取組分野1		市民の参画と協働によるまちづくり		R5	R10
指標名	市民活動サポートセンター登録団体数			中間値	目標値
指標の定義	市民活動サポートセンターを利用するための登録をしている団体数			60団体	65団体
取組分野2				R5	R10
指標名				中間値	目標値
指標の定義					
取組分野3				R5	R10
指標名				中間値	目標値
指標の定義					
取組分野4				R5	R10
指標名				中間値	目標値
指標の定義					
取組分野5				R5	R10
指標名				中間値	目標値
指標の定義					

2 成果指標 DO & REPLAN（実績を計上し計画値を再設定）

指標①	取組分野1 市民の参画と協働によるまちづくり							
	成果指標名	NPO・協働に関する相談件数	単位 件	R1実績 38	R2計画 40	R3計画 45	R4計画 50	R5目標 55
	対象	市民・団体	指標設定の考え方	市民との協働を推進するため、NPO活動や協働に関することなど、市民や団体などからの相談を受ける窓口を設置する。				
			把握方法	相談窓口及び協働推進課へのNPO・協働に関する相談件数				

指標②	取組分野1 市民の参画と協働によるまちづくり							
	成果指標名	協働に関する職員研修への参加者数	単位 人	R1実績 27	R2計画 30	R3計画 30	R4計画 30	R5目標 30
	対象	市職員	指標設定の考え方	協働に関する職員の理解を深め、協働の実践につなげるため、市役所の職員を対象として研修を開催する。				
			把握方法	職員研修への参加者数				

指標③								
	成果指標名		単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
	対象							
			指標設定の考え方					
			把握方法					

指標④								
	成果指標名		単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
	対象							
			指標設定の考え方					
			把握方法					

指標⑤								
	成果指標名		単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
	対象							
			指標設定の考え方					
			把握方法					

3 施策の評価

ANALYSE & CHECK(分析・評価)

施策の分析（現状の確認と近隣調査）		
施策の現状	・行政区及び地区コミュニティ推進協議会の自主性、主体性を一層高めるため、それぞれの実情や特性に合った一括交付金を支出している。 ・地域課題を解決するために行政区や地区コミュニティ推進協議会、市民活動団体などが行う自発的な公益活動に対し、「がんばる地域応援補助金」による支援を行っている。 ・協働のパートナーを育成するため、「NPO・協働相談窓口」を設置し、市民活動の活性化や行政との協働を推進している。 ・公益活動を行う市民団体などへの支援を目的として、市民活動サポートセンターを開設している。	
成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	・まちづくりの主役であることを自覚し、地域政策の立案などに積極的に参画し、自らの発言や行動に責任を持っていただく。
	行政	・行政区や地区コミュニティ推進協議会、市民活動団体など、主体的・自発的にまちづくりに取り組む公益活動を行う団体等への支援を行い、協働のパートナーとしての育成に努める。
近隣市町との比較	・近隣市町において、市民参画によるまちづくりにつながる行政区やコミュニティ地区への支援をしていない自治体はない。 ・指標①②については、人口規模が違うため比較が難しい。 ・NPO法人の数は、みよし市(10)、岡崎市(77)、豊田市(73)、日進市(25)、豊明市(20)である。	

施策の評価（活動の振り返りと課題の明確化）	
平成30年度以前の活動	・協働事業支援実施業務として、庁内各課への協働可能事業についてのヒアリングを行った。 ・がんばる地域応援補助金の申請団体数(H28:4団体、H29:2団体、H30:2団体、R1:2団体) ・がんばる地域応援補助金の採択団体数(H28:4団体、H29:1団体、H30:2団体、R1:1団体) ・市民活動センター登録団体数(R1末:52団体)
令和元年度の活動内容	・協働事業支援実施業務として、ヒアリングした内容を検討し、協働モデル事業として事業を選択した。 ・がんばる地域応援補助金の申請団体数(R1:2団体) ・がんばる地域応援補助金の採択団体数(R1:1団体) ・市民活動センター登録団体数(R1末:52団体)
積み残し課題等	・がんばる地域応援補助金の申請団体が減少傾向にある。市民活動団体などにとって使いやすい補助金とするため、制度の見直しを必要があると考える。 ・市民活動センター登録団体については、毎年度更新のため、年度当初から年度末に向けて登録団体が増えていく傾向にあるが、ここ数年は同程度で推移してきているため、登録団体を増やすことが必要であると考える。

4 活動計画

ACTION & PLAN(目標を達成するために起こす行動)

令和2年度以降の施策目標達成に向けての取組の方向性	・がんばる地域応援補助金の制度見直しを進める。 ・市民活動センター登録団体数の増加に努める。
施策目標達成に向けての令和2年度の活動内容	・がんばる地域応援補助金の制度改正については、地域課題の解決を目的とするものだけでなく、もう少し広く事業を採択できるような別の補助金の制度設計を図る。制度の詳細については、がんばる地域応援補助金審査委員会にも相談しながら検討していく。 ・市民活動センター登録団体については、各団体の横のネットワークを活用するなどしてPRに努める。